

地方行政サービス改革の取組状況等(令和4年4月1日現在)

自治体コード	都道府県名	市区町村名	類似団体区分
273619	大阪府	熊取町	町村 V-2

(1)民間委託

	直営(※)	今後の対応方針【直営(※)を選択した団体のみ回答】	【参考】	
			類似団体委託率	全国(市区町村)委託率
本庁舎の清掃			100.0%	99.4%
本庁舎の夜間警備			98.9%	98.2%
案内・受付	○	総合相談窓口とともに、行政経験豊かな再任用職員の職場として位置づけ、一体的な運用を行えるよう体制整備を進める。	78.8%	86.3%
電話交換			88.9%	90.2%
公用車運転			80.3%	87.6%
し尿収集			100.0%	98.1%
一般ごみ収集			94.4%	97.2%
学校給食(調理)			73.7%	73.2%
学校給食(運搬)			87.1%	91.0%
学校用務員事務			43.8%	38.2%
水道メーター検針			100.0%	98.9%
道路維持補修・清掃等			97.9%	97.2%
ホームヘルパー派遣			100.0%	99.2%
在宅配食サービス			100.0%	99.9%
情報処理・庁内情報システム維持			100.0%	99.8%
ホームページ作成・運営			97.8%	98.1%
調査・集計			97.7%	96.2%

※令和4年4月1日現在において、直営で専任職員を置いている団体

(3)窓口業務

総合窓口の設置				窓口業務の民間委託			
設置状況	設置予定無し	予定時期	-	委託状況	委託予定無し		
BPRの手法を用いた業務分析				【参考】			
取組状況		業務改革効果		類似団体	全国(市区町村)		
				総合窓口設置率	委託率	総合窓口設置率	委託率
				15.2%	25.3%	15.3%	28.8%

(4)庶務業務の集約化

実施状況	委託状況	対象部局				対象業務				【参考】	
実施済	委託有	首長部局	企業局	教育委員会	その他	給与	旅費	福利厚生	財務会計	実施率	委託率
		○	○	○		○		○		33.3%	5.1%
「実施予定無し」及び「首長部局未設置団体」は「未実施の理由」を、「実施予定あり」の団体は「実施予定時期」を記述してください。 【人口が9万人未満の団体は回答不要】											
BPRの手法を用いた業務分析											
取組状況		業務改革効果									

(2)指定管理者制度等の導入

	公の施設数	制度導入施設数	導入率	前年度以降、導入が進んでいない理由	自治体職員常駐施設数	自治体職員を常駐で配置している事に対する考え方	【参考】	
							類似団体導入率	全国(市区町村)導入率
体育館	1	1	100.0%	0	0	0	29.1%	40.8%
競技場(野球場、テニスコート等)	3	2	66.7%	テニスコート2箇のみを有しており、指定管理者制度導入によるコスト削減が期待できないため。	0	0	32.6%	49.2%
プール	0	0	0.0%	0	0	0	31.7%	52.6%
海水浴場	0	0	0.0%	0	0	0	26.7%	13.5%
宿泊休業施設(ホテル、国民宿舎等)	0	0	0.0%	0	0	0	89.5%	84.8%
休業施設(公衆浴場、湯・山の家等)	0	0	0.0%	0	0	0	54.5%	75.4%
キャンプ場等	1	1	100.0%	0	0	0	36.7%	59.7%
産業情報提供施設	0	0	0.0%	0	0	0	61.3%	74.9%
展示場施設、見本市施設	0	0	0.0%	0	0	0	42.9%	65.7%
開放型研究施設等	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	43.0%
大規模公園	1	1	100.0%	0	0	0	20.6%	44.6%
公営住宅	1	0	0.0%	管理戸数が少なく、直営で運営でき、指定管理者制度を導入してもコスト面でのメリットがないため。	0	0	4.4%	16.5%
駐車場	0	0	0.0%	0	0	0	24.0%	36.8%
大規模公園、斎場等	2	1	50.0%	斎場は平成30年度以降指定管理者制度導入済。斎場については、直営で運営すべきと考えている。	1	斎場については、直営で運営すべきと考えている。	18.8%	23.3%
図書館	1	0	0.0%	熊取町行政運営プラットフォームにより、平成30・31年度において、導入の進捗について実施した結果、教育研究機関としての重要性に鑑み直営で運営すること並びに常駐の自治体職員が住民の読書活動を計画的に推進することが適切であると考える。	1	平成30・31年度に今後の図書館運営について検討した結果、教育研究機関としての重要性に鑑み直営で運営すること並びに常駐の自治体職員が住民の読書活動を計画的に推進することが適切であると考える。	18.2%	21.2%
博物館(熊取町、長瀬、笠原、熊取町)	1	0	0.0%	当施設が様々な機能を持つ本町独自の複合的な公の施設であること、制度導入によるコスト削減が期待できないこと及び施設の特殊性を踏まえ、平成30年度以降において、導入の進捗をおこなう。	1	当施設が様々な機能を持つ本町独自の複合的な公の施設であること、制度導入によるコスト削減が期待できないこと及び施設の特殊性を踏まえ、平成30年度以降において、導入の進捗をおこなう。	21.7%	28.6%
公民館、市民会館	3	0	0.0%	コスト削減が期待できないこと及び施設の特殊性を踏まえ、平成30年度以降において、導入の進捗をおこなう。	3	制度導入によるコスト削減が期待できないこと及び施設の特殊性等を総合的に勘案すると直営による管理運営を行うことが望ましい。	20.0%	23.6%
文化会館	0	0	0.0%	0	0	0	38.3%	52.1%
合宿所、研修所等(青少年の家を含む)	0	0	0.0%	0	0	0	9.5%	49.8%
特別養護老人ホーム	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	75.6%
介護支援センター	0	0	0.0%	0	0	0	30.8%	47.9%
福祉・保健センター	2	1	50.0%	当施設の性格から、指定管理者導入によるメリットが少ないため、現時点では導入に馴染まない施設であると判断している。	1	当施設の性格から、指定管理者導入によるメリットが少ないため、現時点では導入に馴染まない施設であると判断している。	37.6%	52.9%
児童クラブ、学童館等	5	5	100.0%	0	0	0	19.7%	24.0%

(5)自治体情報システムのクラウド化

実施済	○	類型		【参考】
		自治体クラウド		実施率(類似団体)
		単独クラウド	○	自治体クラウド
				単独クラウド
				50.5%
				88.9%
				全国
				自治体クラウド
				単独クラウド
				46.5%
				53.5%

(6)公共施設等総合管理計画

策定済	○	策定予定		策定予定時期
【参考】				
類似団体	全国(市区町村)			
策定割合	策定割合			
100.0%	99.9%			

(7)地方公会計の整備

作成済	0	作成予定	○	作成完了予定年度	令和4年4~6月
【参考】					
類似団体	全国(市区町村)				
作成割合	作成割合				
91.9%	91.4%				

(注1) 統一的な基準による地方公会計については、原則として平成27年度から平成29年度までの3年間で整備するように要請されているが、当該調査の基準日はその初年度の開始時点である。

(注2) 「作成済」の※印は、平成30年度決算から取引の都度、伝票単位ごとに仕訳を行う方法(日々仕訳)により令和元年度中に財務書類の作成を行う団体